

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入所間もない利用者が、グループホームの環境等になじめず、苑外に出ようとされる利用者があるために、玄関を時間を決めて施錠している。	グループホームの生活に慣れていただき、施錠なく安心して生活していただきたい。	・苑内で落ち着きがなく歩き回られるときなど、利用者の思いを聞き、一緒に行動することで利用者の不安を取り除く介護を行う。 ・本人の興味や好みに注目し、本人が集中できるレクリエーションや作業を提供することで、落ち着いた自由な暮らしができる環境を提供する。	6ヶ月
2	35	地域消防団等と合同避難等や訓練時に地域住民に対し、開催案内等は送付しているが、地域住民より十分な協力を得るまでには至っていない。	地域住民が高齢なために、災害等が起こった際に積極的に避難誘導を行っていただくことはできないが、情報の伝達や避難の際の後方援助などが行える体制を整えていきたい。	・地域の公民館長、民生委員等と協議を行い、地域住民の方に具体的に災害時にどのような協力をもらえるのかを協議する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。